

# SAME



「生活日本語教室」では、現在、11か国30人の学習者が生活に必要な日本語を学んでいます!  
6月19日(日)には、静岡市収集業務課にご協力いただき、ごみの出し方や分別方法を学ぶ講座を開催しました。

## CONTENTS

特集 講演「地域社会の多文化共生」	2.3
Message Board、イベント・催しのお知らせ	4.5
しそーかじん／アンソニー・ウッドハウスさん(イギリス マンチェスター出身)	6
国際交流活動紹介／カポエイラ道場 ナゴアス静岡	6
事業報告／第1期生活日本語教室	7
静岡市多文化共生総合相談センター・外国人相談窓口	8



# 「地域社会の多文化共生」

6月半ばより、「外国人コミュニケーションボランティア講座」を開講しました。この講座は、地域や職場などで外国人と接する機会がある方や、これから外国人と関わる活動を始めたい方を対象に、全5回で講義やワークショップを通じて静岡市の外国人の状況や、日本語での会話が困難な外国人とのコミュニケーションや会話を引き出すためのスキルを学ぶものです。

本講座の第一回目は「地域社会の多文化共生」について、静岡県立大学の高畠教授にご登壇いただきました。講義要旨をご紹介します。

講師：静岡県立大学国際関係学部  
高畠 幸 教授

## 静岡に住む外国人

日本全国では、約289万人の外国人が住んでいます。これは、京都府の人口よりも多い数字です。もしも、日本に住む外国人全員が一か所にまとまって生活していたら、一つの県と同じくらいの人数になるということです。国籍別では、一番多い国から中国、ベトナム、韓国、フィリピン、ブラジルの順となっています。すべての外国人は何らかの在留資格を持って滞在しています。日本で一番多い在留資格は、永住で約80万人、次に技能実習で37万人です。そして、静岡県内には約10万人の外国人が在住しています。静岡市を含む中部地区にはアジア圏出身者が多く、西部地区には南米圏出身者が多いです。静岡市では、日本人は減少する一方で、外国人が増加傾向にあり、令和4年3月現在、10,437人の外国人が在住しています。特に、20~30代と比較的若い世代が多く、日本の若者不足を補う形となっています。このようなことから、私たちが外国人、もしくは外国人にルーツがある人々と、地域で一緒に暮らす、一緒に働く、一緒に学ぶことは必然であり、当たり前といえます。

このような中、静岡市では「多文化共生のまち推進条例」が施行(2022年7月12日)されました。多文化共生をテーマにした条例の施行は静岡県内では初めてのことです。私も所属する、静岡市多文化共生協議会では、日本人だけでなく、外国人の市民も委員となり、この条例の内容について議論をしてきました。多文化共生という価値観は、これからもみんなで大事にしていかなければならないことで、条例という形は、地域全体で取り組む多文化共生の一つのシンボルになると思います。

## 多文化共生とは何か、私たちに何ができるのか

「多文化共生」とは、2006年に総務省が定めた言葉です。この言葉の定義は、「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく」としています。これをもとに、各自治体では「多文化共生推進計画」を策定し、コミュニケーション支援、生活支援、意識啓発や社会参画支援などの対応を行っています。「多文化共生はどこにありますか?」といえば、私たちの生活空間にあります。バーチャル空間にはありません。私たちの生活空間にしかありません。これを支えているのは、言語やコミュニケーション、地域社会、教育です。多文化共生とは一つの価値観であり、この価値観は今後ますます重要なものになっていきます。

皆さんの中には、「多文化共生が良いといつても、外国から来れる人や日本語がまだよく理解できない人が増えると近隣トラブルが起きるのではないか?」と思われる方もいらっしゃるでしょう。実際、トラブルは起きていますし、これは避けられないことです。でも日本人同士でもトラブルは起こるもので、相手が外国人だから必ずトラブルが起きるわけではありません。何かのトラブルが起きたとき、日本人同士では、“日本の常識”とは改めて言葉には出しませんが、相手が外国人だと彼(女)らは“日本の常識がわからない”と思ってしまうことはありませんか?偏見はコミュニケーションを阻害します。偏見を持っていなければ、コミュニケーションをさらに広げていくことができます。

## 地域社会の多文化共生を支える人たちとは

日本全国どこにでもある“自治会”は日本特有の組織です。県内で自治会や地域の関係機関が中心となって、多文化共生を進めている事例を紹介します。

一つ目は、自動車の関連工場が多い、磐田市竜洋地区、敷地自治会です。この地域内には、20棟のアパートがあり、その住民の約半数が外国人です。ここでは、「多文化担当」を決め、その担当者が率先して外国人住民に声をかけたり、イベントに誘ったりしているそうです。一戸建てを購入する外国人も増えている地域で、近くには、ブラジル人、フィリピン人の営業の社員がいる不動産会社もあるほどです。外国人も永住資格を持っているれば住宅ローンを組むことができます。一戸建てを希望する定住外国人が不動産会社を訪れ、彼らの生活にあった注文住宅を建てています。実際に完成した家の写真を見せてもらいましたが、一階のリビングがとても広く、家にお客さんを呼んでホームパーティーができるようになっているなど、家族が生活を楽しめる家でした。

二つ目の例は、菊川市の青少年健全育成会平川支部の取り組みです。この地区には日本語の初期指導教室とブラジル人学校が2校あります。しかし、ブラジル人学校では日本人との関わりがほとんどありません。そこで、平川コミュニティ防災センターを会場として毎年、餅つきや流しそうめん、スイカ割りなど、季節の行事を行い、日本語教室に通う学習者やブラジル人学校の児童生徒、先生も参加できるよう声をかけています。皆、この行事をとても楽しみにしているそうです。というのも、この地区的工夫は、青少年健全育成会が主催するイベントをブラジル人学校の年中行事に組み入れ、児童生徒が学校にいる時間に実施していることです。そして、これを一回でなく、継続することで「来年もまた」という関係が続いているのです。スイカ割りでは、地域の農家さんが育てたスイカを使用しているそうです。

静岡市では、自治会連合会が、自治会の案内パンフレットを多言語で作成しています。近所に引っ越してきた外国人がいたら、該当の言語のパンフレットを印刷して、自治会への加入を促すことができます。また、駿河区の森下学区では、学区内に日本語学校があることから、留学生が地域のお祭りで日本人と一緒に神輿を担ぐなど、地域社会に参画しています。これをきっかけに顔見知りになり、近所で会った際にもお互い声をかけやすくなります。



多文化共生は自然発的にではなく、支えになる人が必要です。例えば、自治会長、協力的な外国人住民代表もしくは家族、行政職員などです。多文化共生は一つの住民組織、地域の考え方の一つであり価値観です。それを広めていくのが条例や、地域の支援を行っている行政職員でもあります。

## 多文化共生社会実現の担い手に

様々な紛争を未然に防ぎ、多文化共生を実現するには、相互理解が大切です。それは違う文化、バックグラウンドの人たちに歩み寄り、ふれ合い、話することで、初めて理解できるのです。その機会を作ることが多文化交流の意義です。みなさん一人ひとりができるところから取り組み、地域の多文化共生社会実現の担い手となり、活躍してくれることを期待しています。



プロフィール  
高畠 幸

1969年生まれ。  
専門は都市社会学、国際移動論。博士(文学)。  
2011年静岡県立大学に着任、2018年より現職。  
当協会理事

## 講義のポイント

- 静岡市では日本人が減少、外国人が増加。
- 国は2006年から「地域社会の多文化共生」(総務省)を推進している。
- 2022年3月現在、外国人人口が10,437人  
2015年から多文化共生推進計画策定。2022年7月12日「多文化共生のまち推進条例」が施行された。
- 地域社会の多文化共生は、自治会活動から。
- 「外国人は、どこにいるの?」という方は、静岡市エスニックレストランマップのご活用を。

# Message Board



## 第4回「静岡わいわい ワールドフェア」 当日ボランティア募集

日 時／11月27日(日)9:00～17:00  
(フェア開催時間は、10:30-15:30)  
会 場／青葉シンボルロード(葵区吳服町2丁目)  
内 容／イベント内での来場者受付、各ブース運営補助、  
民族衣装コーナー運営補助、会場整理等。  
昼食付。  
11月26日(土)14:00～16:00に事前説明会を  
予定しています。

定 員／高校生以上 50人(定員に達し次第締め切り)  
申込み／当協会Webサイトからお申込みください。  
担 当／石黒(SAME 本部)



お問合せ・お申込み  
コチラから

(一財)静岡市国際交流協会

TEL 054-273-5931(本部) 054-354-2009(清水支部)  
Webサイト [www.samenet.jp](http://www.samenet.jp)



## となりの国の人たちと 自分さがしのカフェトーク

トークテーマを変えながら在住外国人と日本語で気軽におしゃべりします。今年度は毎月第4金曜日(ただし、9月は第5金曜)に、全8回を開催予定です。その国ならではの話を聞き、日本ではどうなのかも触れて交流し、ネットや本では体験できない新たな価値観を探してみませんか?

### ①第4回 トークテーマ「食事にまつわること」

日 時／9月30日(金)18:30～20:00  
内 容／伝統的な食事、よく使う食材や調味料、今流行りの食べ物、屋台で好まれる食べ物、食事会や飲み会のこと等、おしゃべりします。  
申込み／9月22日(木)までに当協会Webサイトからお申込みください。(多数抽選)

### ②第5回 トークテーマ「住まいのこと」

日 時／10月28日(金)18:30～20:00  
内 容／どんな家に住んでいるのか、伝統的な家、家に住む家族構成や、賃貸か持ち家か、ほぼ一生同じ家に住むのか、家は住み替えていくのか等、おしゃべりします。  
申込み／10月20日(木)までに当協会Webサイトからお申込みください。(多数抽選)  
※9月中旬になりましたら詳細や申込みフォームを当協会Webサイトに掲載します。

### ①②共通

会 場／当協会会議室(葵区追手町3-11)  
対 象／どなたでも  
定 員／15人(最少催行人数3人)  
参加費／会員1,000円、一般1,100円(税込)  
担 当／五條(SAME 本部)

## 『医療、福祉、司法 なんでもかんでも相談会』 を開催します。

病気や障がいのこと、法律のこと、仕事や生活のこと、お子さんの発育に関することなど、お困りごとがあれば、なんでもご相談ください。



日 時／9月10日(土)13:30～15:30

会 場／清水保健福祉センター4階 医師会会議室  
(清水区渋川2-12-1)

対 象／どなたでも

言 語／外国語でも対応可能ですが、事前にご相談ください。

参加費／無料

参加方法／事前予約が必要です。

主催・申込み・問合せ／(一社)静岡市清水医師会  
Tel.054-344-0550

## ウクライナ希望のつばさSHIZUOKA主催 映画「ピアノ」 先行チャリティ上映会& アフタートークのご案内

ウクライナからの避難者への緊急支援活動に静岡県内で迅速に取り組んでいくため、NPOや市民活動団体・社会福祉関係団体等が連携し、支援の取り組みについて協議し、広く県民にウクライナ支援への理解と協力を呼び掛ける「ウクライナ希望のつばさSHIZUKOA」が4月1日に設立されました。より多くの人たちにウクライナへの関心を持っていただきたいと考え、映画「ピアノ」の上映会とアフタートークの企画を開催いたします。

開催日時／9月19日(月・祝)14:00～

開催場所／静岡シネ・ギャラリー  
(静岡市葵区御幸町11-14 サルナートホール3階)

講 師／アフタートーク登壇：堀内賢志氏  
(静岡県立大学国際関係学部)

対 象／どなたでもご参加いただけます。

参加費／1,200円

定 員／200名(自由席)

詳細はウクライナ希望のつばさウェブサイトでご確認ください。  
<https://kiboutsubasa.jp/>

その他／本先行上映会の収益をウクライナ支援活動に寄付します。

イベント・催しの  
お知らせ

## 日本語パートナーズ 2022年度第2回募集 (タイ 11期 インドネシア 19期 ラオス 8期)

アジアの中学校・高校などの日本語教師や生徒のパートナーとして、授業のアシスタントや、日本文化の紹介を行います。専門的な知識は必要なく、応募要件に当てはまればどなたでも応募できます。アジアで多くを発見・吸収し、それを周囲へ、未来へ広げる…そんな人になってみませんか?

### ①タイ 11期

定 員／30人  
期 間／2023年5月～2023年12月

### ②インドネシア 19期

定 員／20人  
期 間／2023年8月～2023年12月

### ③ラオス 8期

定 員／4人  
期 間／2023年8月～2023年12月

※いずれも予定のため、派遣先機関等の都合により変更する可能性があります。

応募締切／2022年9月14日(水)17:59まで  
(専用フォームより書類をアップロードし  
応募してください。郵送・持込み不可)  
募集用特設ページ：  
<https://np.asiawa.jpf.go.jp>

主 催／独立行政法人国際交流基金(JF)  
日本語パートナーズ事業部事業第2チーム  
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-4  
E-mail:nihongopartners@jpfc.go.jp  
受付時間:9:30～18:00(土日祝除く)

申込み／上記の募集用特設ページからお申込み  
ください。



## イギリス マンチェスター出身 アンソニー・ウッドハウスさん

1998年- オーストラリア滞在  
2000年

2000年 初来日  
オーストラリアより、日本の友人たちを訪ねる  
ベトナム、ラオス、タイ、マレーシア、インドネシア、シンガポールなどアジアの国々をバックパックで旅する

2004年 日本人女性との結婚により、来日

2012年 鈴与(株)研修所の英語講師として勤務。現在に至る



## 国際交流活動紹介 カポエイラ道場 ナゴアス静岡



ろがカポエイラの楽しさであり、奥深さでもあります。カポエイラを通じて、外国人と友人になったり、海外の文化に興味を持ったことで、視野が広がることでしょう。ナゴアス静岡は、これからも我が町・静岡市から、カポエイラを広めていきたいと考えています。

## 静岡市で活躍する外国籍住民を紹介するコーナーです。

来日理由は、日本の教育や文化に興味を持っていたからと言いたいところですが、残念ながらそうではありません。素晴らしい日本女性と出会い、恋に落ち、家族として来日したのです。来日前は、日本については何も知らず、特に興味も持っていました。

息子が生まれると、驚くほど安価な中古キャンピングカーを購入しました。家族で旅する際に生じる旅費やホテルの費用よりも安上がりになるだろうと考えたのです。

それから広島県の宮島と愛媛県の道後温泉を訪れました。温泉街を浴衣で歩き、温泉に浸かった後に食事をし、また別の温泉に浸るというのんびりとした雰囲気を堪能しました。また、英国人でありジェームズ・ボンドのファンである私は、かねてより「007は二度死ぬ」が撮影された鹿児島県の秋目という村に行きたいと思っていました。何時間も山道を運転していた村には、ショーン・コネリー卿と丹波哲郎氏の署名が彫られた石碑があり感動したことを覚えています。北海道小樽では、私を故郷に連れ戻してくれたのかと思わせるほどの赤レンガと運河を目の当たりにしました。



その景色は故郷であるマン彻スターによく似ていました。

想像していた以上に素晴らしい人々との出会いや美しい風景に満ちあふれた旅で、さまざまな文化にふれることができました。来日当初は数年の滞在のつもりでした。しかし、輝く島を旅する中での様々な体験に導かれ、私の日本でのオデッセイ(長い冒険の旅)が始まったのでした。

設立/2004年  
代表/松永哲也

活動場所/静岡グランシップ練習室及び  
城北公園運動場多目的室

「カポエイラ」はブラジルの伝統的格闘技です。本場ブラジルでは年齢・性別・人種を問わず盛んに行われています。大人から子どもまで誰もが楽しめるカポエイラの楽しさを、一人でも多くの静岡市の皆さんに知っていただきたいという思いで活動しています。

格闘技、音楽、舞踊など様々な要素を含んだブラジルの伝統的格闘技カポエイラは、16世紀にアフリカからブラジルに連れてこられた黒人奴隸が編み出したとされています。ナゴアス静岡は、静岡市に拠点を置いて活動している団体です。きっかけは、代表の松永哲也が、旅行先のアメリカでカポエイラの迫力と格好良さに心を奪われ、帰国後、浜松市の日系ブラジル人の先生に弟子入りしたことになります。現在、メンバーは子どもから大人まで20人ほど。学習歴も様々で、初心者から15年位までの幅広い層の人々が参加しています。レッスンでは、まず全員が輪になって着席し、歌と楽器の演奏から始まります。さらに、ストレッチ、リズムトレーニング、ジンガ(カポエイラの基本動作)、ジョーゴ(組み手)、アルマーダ(蹴り)と続き、最後は次々と相手を入れ替え、互いの技を尊重し合いながら迫力ある即興の技をかみ合せていきます。ダイナミックな動きがカポエイラの特徴ですが、歌や楽器の演奏も重要な要素です。弦が1本の「ビリンバウ」や、独特のリズムを奏でる「アタバキ」「バンディロ」の伴奏で、コヒード(伝統的な歌)が歌われます。歌には食べ物のことや動物のこと等シンプルな内容があれば、「今日はあっても明日はない」など深い意味が込められたもの、「奴隸船で連れてこられたときの気持ち」など様々で面白いです。このように、楽器、歌、格闘技、ダンスの要素が同時に進行すること

ろがカポエイラの楽しさであり、奥深さでもあります。カポエイラを通じて、外国人と友人になったり、海外の文化に興味を持ったことで、視野が広がることでしょう。ナゴアス静岡は、これからも我が町・静岡市から、カポエイラを広めていきたいと考えています。

## 事業報告

# 第1期生活日本語教室

5月15日にスタートした第1期生活日本語教室は8月初旬に終了しました。毎週日曜日と月曜日に、対面で実施し、11カ国30人の学習者が参加しました。学習者の多くは、昨年度、当協会が作成したオリジナル教材『はなそにほんごしそーかで』を使って、自分の話題や気持ちを相手に伝えられるよう、お互いに話をし、質問をするという活動をしました。生活日本語教室の活動を支えてくださるのは、当協会に登録し、日本語教室で学習者と会話をしてくださる日本語サポートの皆様です。学習者は、日本語サポートとのやさしい日本語での会話を通じて日本語の自然な表現を学んだり、生活に役立つ情報を得ました。生活日本語教室に参加した学習者に対して実施したアンケートの一部を紹介します。学習者の声から、日本語を学ぶことで他者とのコミュニケーションができるようになったり、生活が良い方向に変わっていることを実感していることがわかります。引き続き、生活日本語教室の目標である、「外国人住民が日本語を使って、安心安全に生活し、地域社会の一員として活躍できる」地域社会の構築をめざし、日本語サポートの皆様と一緒に活動に取り組んでいきたいと思います。



## 第1期 生活日本語教室 アンケート (一部抜粋)

【回答者:18名】

### 日本語教室に来てよかったですとは何ですか?

- 職場の人とコミュニケーションが取れるようになった。
- 毎回日本語の新しい言葉を学び、それを使えるようになった。
- 日本語サポートはとても親切で、日本語をわかりやすくシンプルに話してくれた。
- 困った時に相談できるところが増えた。
- 不安なく勉強できた。
- 自分と同じように日本語を学びたい外国人と交流ができた。
- 友達がたくさんできた。



### この教室で勉強したことで生活がどのように変わりましたか。



第2期生活日本語教室は9月5日(月)に始まります。一緒に活動していただける日本語サポートを絶賛募集中です!資格や能力は必要ありません。やさしい気持ちで学習者の話を聞き、日本語で会話します。静岡市で共に暮らす学習者から、彼らの文化を聞いたり、話したりして、一番身近な国際交流をしてみませんか?多くの皆様のご参加をお待ちしています!ご興味のある方は、本部(担当:多々良)までお問い合わせください。

## 静岡市外国人住民数

令和4年7月末現在

順位	国籍	計	前月比	順位	国籍	計	前月比	順位	国籍	計	前月比	順位	国籍	計	前月比
1	中国	1,970	-3	9	スリランカ	445	2	17	パキスタン	49	3	25	フランス	22	0
2	ベトナム	1,762	21	10	米国	194	6	18	英国	46	0	26	ボリビア	19	-1
3	フィリピン	1,319	-2	11	朝鮮	147	-2	18	モンゴル	43	0	その他	253	6	
4	韓国	1,142	1	12	タイ	144	-1	20	ロシア	35	1	静岡市の外国人住民総数	11,067	18	
5	ネパール	1,010	7	13	バングラデシュ	131	-1	21	カナダ	31	-1	静岡市の人口に占める外国人住民の割合	1.61%		
6	ミャンマー	710	18	14	台湾	126	0	22	マレーシア	30	0	全国の外国人登録者数(令和3年12月末現在)	2,760,635		
7	ブラジル	589	3	15	ペルー	108	0	23	カンボジア	29	3	全国の人口に占める外国人住民の割合	2.20%		
8	インドネシア	585	-48	16	インド	104	6	24	オーストラリア	24	0				

しづおかしたぶんかきょうせいそうごうそうだん

## 静岡市多文化共生総合相談センター

### Multilingual Consultation Service Shizuoka City

がいこくじんそうだんまどぐち

# 外国人相談窓口



げんご 13の言語と、やさしい日本語で相談できます



ざいりゆうしきく  
在留資格



ぜいきん ねんきん  
税金・年金



にほんごがくしゅう  
日本語学習



しゅっさん こそだて  
出産・子育て



びょういん ほけん  
病院・保険



しごと  
仕事



がっこう きょういく  
学校・教育



くやくしょ てつづ  
区役所での手続き

FREE  
むりょう

無料

ひみつ まも  
秘密は守ります

しみずく  
清水区



054-354-2009 054-273-5931

げつようび 月曜日～金曜日

8:30～17:15

しうくじつ にほん やす ひ  
※祝日（日本の休みの日）と12月29日～1月3日は休み

あおいく  
葵区

がつ にち がつ か やす  
12月29日～1月3日は休み



■本部

TEL 054-273-5931 FAX 054-273-6474

OJR静岡駅より徒歩10分

○静鉄電車「新静岡駅」より徒歩5分



Facebook  
Helpline Shizuoka CityのMessenger



しみずく  
清水区

しうおかしぶみしうあさひちょう  
静岡市清水区旭町6-8

しうおかしゃくしょ しみずちょうしゃ かい  
静岡市役所 清水庁舎2階

いちざい しうおかしくさいこうりゅうきょうかい  
(一財)静岡市国際交流協会(SAME)清水支部の中

あおいく  
葵区

しうおかしあおいくおうてまち  
静岡市葵区追手町5-1 静岡市役所17階

いちざい しうおかしくさいこうりゅうきょうかい  
(一財)静岡市国際交流協会(SAME)の中



するがく  
駿河区

しうおかしするがくみなみやはたちょう  
静岡市駿河区南八幡町10-40

するがくやくしょ かい しみんそうだんしつ  
駿河区役所3階 市民相談室



■清水支部

TEL 054-354-2009 FAX 054-352-0334

OJR清水駅より徒歩約15分

○静鉄電車「新清水駅」より徒歩3分



じーとうだんいん  
相談員



タブレット



でんわ  
電話

### 外国語相談員勤務日

曜日	地区	時間	言語
月	清水	8:30～17:15	スペイン語／ポルトガル語
	静岡	8:30～16:00	ベトナム語
火	清水	13:00～16:00	フィリピン語
	静岡	9:00～12:00	中国語
水	清水	8:30～17:15	スペイン語／ポルトガル語
	静岡	13:00～16:00	中国語
	清水	8:30～17:15	スペイン語／ポルトガル語
木	静岡	13:00～17:00	フィリピン語
	静岡	13:00～16:00	ネパール語
金	静岡	13:00～16:00	

英語は本部・支部ともに隨時、スペイン語、フランス語は本部のみ隨時受け付けています。